

「課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業」  
実社会対応プログラム最終評価結果表

課題	人口減少地域社会における安心しうるケア・システムの構築と生活基盤の整備
研究テーマ名	データベース解析に基づくケア・システムの地域特性の把握と福祉まちづくりデザイン
研究代表者	佐無田 光
所属機関・部局・職	金沢大学・人間社会研究域・教授
研究成果の総合評点：A	
研究成果の評価に係る所見	
<p>本研究は、健康診断、医療保険、介護福祉データなどの統合による国保データベースを軸として、そこに診療データなどの各種データを組み合わせることで解析し、地域毎の特性を抽出することに成功している。さらに、地域の特性に応じた最適ケア・システムの構築に役立てるべく、GIS技術を用いた高齢者福祉に関わるビッグデータを可視化することに成功している。また、エビデンスにもとづく健康まちづくり政策を提言するとともに、企業・地方自治体と連携研究協定を締結し、今後の研究・社会実装の伸展にメドをつけている。これらの点は、すべて、高く評価できる。</p> <p>これらの成果は本年度末に書籍にまとめられる予定であるが、本研究で得られた知見が周知・活用されることが大いに期待される。</p>	

※ 「研究成果の総合評点」に対する標語は下記のとおり。

- S. 研究目的に照らして、期待以上の成果があった
- A. 研究目的に照らして、期待どおりの成果があった
- B. 研究目的に照らして、十分ではなかったが一応の成果があった
- C. 研究目的に照らして、十分な成果があったとは言い難い